

平成29年度 第3回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成29年6月22日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時

閉会時間 午後3時10分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公治

委員（教育長職務代理者） 深田 勇

委員 中川 茂

委員 佐伯 和重

委員 向井 美紀

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局 教育次長 丸谷 統一郎

教育総務課長 和藤 達也

教育総務課企画係主任 太田垣 輝尚

こども教育課長 能登 琢也

こども教育課参事（こども支援センター所長） 福富 省吾

こども育成課長 宮本 ゆかり

こども育成課参事 富岡 隆

教育総務課参事（課長補佐） 正木 一郎

教育総務課教育総務係長 若森 和歌子

事務局以外 地域コミュニティ振興部

生涯学習課長 小谷 士郎

生涯学習課参事（図書館長） 福井 正幸

文化振興課長 木下 直樹

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

深田 勇 委員

第2 前回の会議録の承認

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1)「市民ふれあいのつどいパート1」（人権映画鑑賞会）の開催について
- (2)オセロ大会参加者募集について

2 文化振興課

- (1)Toyooka Art Season 2017の開催について
- (2)奈義町こども歌舞伎公演の開催について

第5 議事

- 議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について
- 議案第9号 豊岡市奨学生の選考について
- 議案第10号 平成29年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について
- 議案第11号 豊岡市養育支援訪問事業実施要綱の制定について
- 報告第6号 豊岡市社会教育委員の委嘱について
- 報告第7号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 報告第8号 平成29年6月市議会答弁概要について
- 報告第9号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 報告第10号 寄付物件の受納について

第6 協議事項

- 1 小規模保育事業運営事業者の公募について

第7 教育委員会事務局の報告

1 こども教育課

- (1)平成29年度教科書展示会について
- (2)平成29年度学校園訪問の日程について
- (3)豊岡市国際交流体験学習使節団（韓国東川初等学校）派遣中止について
- (4)豊岡市こども支援センター5月の活動状況報告について

2 こども育成課

- (1)兵庫県内の保育所等利用児童数について
- (2)豊岡市ファミリーサポートセンター事業の現状報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時

(教育長)

ただいまから、平成29年度第3回定例教育委員会会議を開会します。本日は、教育委員全員が出席しておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程 第1 会議録署名委員の指名ですが、本日は深田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程 第2 前回の議事録の承認についてです。

平成29年5月17日に開催しました、第2回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。事前に配布し確認していただいていると聞いておりますが、誤った点、修正などなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については、承認することに決定します。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程 第3 教育長の報告です。

前回の教育委員会会議の5月17日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育長の主要な教育活動の概要について報告します。

《教育長の報告概要》

12日から15日に市議会の一般質問があり、教育委員会関係において、52件の質問があった。1つは教員の勤務時間の問題であり、2つ目がローカル&グローバル教育についての期待、3つ目は学校規模、子どもの減少について、この3つが大きな質問内容であった。

5月23日、30日、6月3日に各小中学校の校長先生方と面談を行った。その面談の中で規模や

小学校・中学校の校種に関わらず、子どもたちの自己肯定感が低いという課題があった。これは日本全体の問題でもあり、去年の学力テストの調査結果からも豊岡市は小中学校ともに全国よりも、1～2ポイントほど低い。この課題が学校現場でも実感として現れているのだと思った。

今後、3つの課題以外にも各校の共通した課題として、自尊感情について、どのようにして解決したらいいのかを検討する必要がある。これは、自分のことが好きになれない、自分の良さがわからない子どもたちが、自分の学校の良さを言えるはずがない。自分の学校の良さを認識できない子どもたちが豊岡の良さを認識できるはずがない。まずは自分のことについて良いところがある、自分は自分でいいんだ、そんな子どもができるような学校経営が必要だと考えている。

竹野南小学校へ学校訪問を行った。3年生・4年生、それから5年生・6年生と複式学級を視察したが、強い課題意識を持った。複式学級では、2人の学年と8人の学年と一緒に学習することになり、どうしても先生の声かけるタイミングがずれるため、子どもたちが不平等感を感じるのではないかということを感じた。また、大きな問題として、違う意見がなかなか言えない。学級会をしていたが、みんなが仲良くなるためにドッジボールをしよう、サッカーをしようということで、サッカーをする時間を何分にするかということが協議的になっていた。意見が出たのは5分がいいというのと、片方は10分がいいということのたった2つの意見しか出ない。結果、7分30秒になった。まあそこは中を取ってという、大人の擦り合わせ方であり、これが大きくなってから大きな課題になってくるかもしれないと感じた。表面には出ていないが、同質性について、これから着目していかなければいけないと感じた。

(中川委員)

今年も市政懇談会が開かれていると思うのですが、その中で教育関係の質問などありましたか。

(教育長)

1つだけ勤務時間について質問があった。夜遅くまで電気がついているのだけれども、先生たちはそんなに忙しいのか。忙しいことに対してどういう施策で解決するのかということが出ました。

その他、ご質問などありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、教育長の報告を以上で終了させていただきます。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告です。生涯学習課課長、文化振興課長から報告をお願いします。

1 生涯学習課

《生涯学習課長の報告概要》

(1)「市民ふれあいのつどいパート1」(人権映画鑑賞会)の開催について

8月は人権文化を進める県民運動強調月間であり、その取組の1つで人権について考えていただくきっかけとして、この映画の鑑賞会を開く。内容的には午前の部「ペット」という幼児・小学校など子ども向けの映画をする。午後は中学生・高校生を対象として「くちびるに歌を」の映画を準備している。延べ600名の人に観ていただきたい。

(2)オセロ大会参加者募集について

今までは豊岡市がやっていたが、最近は但馬地区子ども会で行っている。例年120名ほどの参加があり、市内からは27年度は86名、28年度は83名の参加者があった。勝ち上がった子どもたちは県大会の出場権が与えられる。県大会へは、豊岡市から27年度は6名、28年度は7名が出演しており、ほとんどが豊岡市の子どもたちであった。

2 文化振興課

《文化振興課長の報告概要》

(1)Toyooka Art Season 2017の開催について

Toyooka Art Season 2017 であるが、今年度は2会期制とし、期間も延長している。夏会期では、市内の各文化施設で個別に展開していた文化芸術のプログラムを合わせ、豊岡の新たな魅力として内外に発信するものであり、今年度で2年目となる。今年度は、特に次世代を担う子どもたちや高校生をはじめとする若い世代、また子育て世代を意識して実施していく。今年度は夏会期だけで32事業予定している。

(2)奈義町こども歌舞伎公演の開催について

今年度、岡山県奈義町と豊岡市との文化交流の一環として、奈義町こども歌舞伎公演を出石の永楽館で実施する。2演目と、歌舞伎の見方の解説を行う。各小中学校については、本公演の入場整理券付きの申込用紙のチラシを配布している。

(教育長)

報告は終了しましたが、ご質問等ありますでしょうか。

(深田委員)

12月の人権週間では、講演会を行われることが多いですが、8月は映画鑑賞を中心とした計画になっています。本市の人権教育の視点が、市民の方にきちんと伝わっているのかがすごく気になります。特に出石の小中一貫ブロックでは、人権教育を1つの特色として挙げています。市民の方は関心がないわけではないだろうと思います。人権教育の視点についてはどのようなお考えをお持ちですか。

(生涯学習課長)

昨年、人権に関する市民の意識調査をさせていただいております。その中でいろんな傾向が少し見えてきたのですが、どうしても無関心層という方がたくさんあるというのが1つの問題になっていると思います。先ほど深田委員からおっしゃっていただいたのですが、出石地域につきましては、人権意識が高い状況も見られます。学校で先生方が一生懸命がんばっておられると思われれます。他の地域では、人権意識の向上について、一生懸命取り組まれているのですが、出石に比べると少しぼやけた内容になり、出石は絞られた人権の学習をされているのではないかといいところがあり、そういったところを参考にしながら、今後どういうふうにしていきたいのかということ、人権意識調査の結果に基づいて検討を始めたところです。豊岡市人権対策推進協議会がありますので、そこと一緒に行っていくのも1つの手ですし、この分野は市がもっともっと力を入れようというようなことが考えられるかもしれません。検討し始めたばかりで、今どうこうとは考えておりません。昨年は映画鑑賞ではなく、コンサートをしたのですが、コンサートよりはもっと来てもらいやすく、感じてもらいやすい、こういった映画鑑賞がいいのではないかといいことで、夏はこれに置き替えております。12月についてはコンサートと、場所によっては講演会をさせていただこうかなと思っておりますが、少し変えていかななくてはならないという問題意識は持っております。

(深田委員)

新しい視点というものを入れていかなければいけないと思うし、また一方で、この問題については過去の歴史からもいろいろな難しい点もある。行政として新しい視点をしっかりと持ちながら方向付けをしていかないといけない分野だと思っております。

(生涯学習課長)

積み重ねていきたいと思っております。

(教育長)

その他質問等ございませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、これで地域コミュニティ振興部からの報告を終わります。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。まず、最初にお諮りします。議案第8号豊岡市立図書館協議会委員の任命、また、議案第9号豊岡市奨学生の選考については、豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(教育長)

出席委員全員の承認を得ましたので、議案第8号、議案第9号については、非公開とします。本日は、傍聴人がありませんので、このまま会議を進めさせていただきます。

○議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の委嘱について

【非公開会議】

◀ 豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例第17条の規定に基づき、豊岡市立図書館協議会委員を委嘱することについて、生涯学習課参事（図書館長）が説明し、審議の結果「異議なし」と決定された。 ▶

○議案第9号 豊岡市奨学生の選考について

【非公開会議】

◀ 豊岡市奨学金規則第6条の規定に基づき、豊岡市奨学生の選考について、教育総務課長、教育総務課企画係主任が説明し、審議の結果、大学生5名と高校生1名の奨学生を決定した。 ▶

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。本日は傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま会議を進めます。続きまして、議案第10号平成29年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、教育総務課長の説明を求めます。

○議案第10号 平成29年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について

◀教育総務課長の説明概要▶

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく、「教育委員会の点検・評価報告書（平成28年度事業分）」の決定をお願いしたい。

前回の定例教育委員会でも事前協議いただいた。前回からの変更点は、その結果を反映させたこと、佐藤真教授の総評を加えたことの2点である。

佐藤教授からは取組の評価と共にさらに充実すべき取組、改善や見直しが必要な取組、さらには、今後の教育施策の取組についても的確な指摘や要望をいただいております、平成28年度の活動全般を踏まえ、平成29年度の実践、さらに平成30年度につなげていきたい。

定例教育委員会で決定された後、議会への提出、豊岡市ホームページなどで公表を行う予定である。

(教育長)

質疑に入ります。質疑はありますか。

(中川委員)

佐藤先生の総評の「今後の施策の取組について」の中で評価指標の妥当性や客観性をさらに高める必要があるのではないかという指摘がある。これについては今すぐどうこうしようということはないのかもしれないが、検討する考えはあるのか。

(教育総務課長)

評価指標については、教育委員さんのご意見と重複しているところがありますので、検討を行っていくつもりでございます。

(教育長)

特に数値に表れにくいものの評価をどうするのが、これからやろうとしている、例えばこのとりプランなどは多く見受けられますので、佐藤先生はたぶんそのことの指摘だと思います。見えないものをどう見える化するか、可視化することは、大切な検証結果であり、次の施策につながりますので、今、中川委員さんが言われましたように、検討していただきたいと思います。

その他質疑やご意見はありませんでしょうか。

(深田委員)

賛成の立場でちょっと発言させてください。佐藤先生の総括意見でも大変高い評価をいただいています。去年は小中一貫教育に向けて、今年からの豊岡こうのとりプランに向けて教育懇談会も各地で盛んに行われましたが、今後の私たちがどういうふうなかたちで教育懇談会を進めていくか、またその質も問われることになるのではないかと感じます。大変高い評価をいただいた分だけ、大変重い課題をいただいたと感じております。がんばっていかねばいけないという励みだと受け止めております。ありがとうございましたという気持ちです。

(教育長)

その他ご意見はありませんか。それでは議案第10号 平成29年度教育委員会の点検・評価報告書は原案のとおり決定いたします。この教育委員会の点検・評価報告書はこの決定を受けて、全市議会議員に配布すると共にホームページで公開します。

(教育長)

続きまして、議案第11号 豊岡市養育支援訪問事業実施要綱の制定について、こども教育課参事の説明をお願いします。

○議案第11号 豊岡市養育支援訪問事業実施要綱の制定について

《こども教育課参事（こども支援センター所長）の説明概要》

豊岡市養育支援訪問事業実施要綱の制定について、資料に基づき説明する。

養育支援が特に必要である家庭に対し、保健師・助産師・ヘルパー等が、その居宅を訪問して、養育に関する相談・指導・助言、その他必要な家事・育児の支援を行うことにより、その家庭の抱える養育上の問題解決と軽減を図るために制定をするもので、子ども・子育て支援新制度の中

で地域子ども・子育て支援事業の13項目の事業の1つに位置づけられている事業である。この養育支援訪問事業で、その13事業の全ての事業を豊岡市で展開できることになる。

市が実施するので、保健師、助産師の訪問は、制度的には訪問支援等になる。また、家事・育児支援はヘルパーの派遣を想定している。このヘルパー派遣は、社会福祉協議会のヘルパーステーションに事業を委託したいと考えており、事業の委託についての規定を加えている。

対象者は、第3条の1号から4号までに掲げる家庭、第5号でその他特に必要と認めた家庭としている。第4条で訪問支援について、保健師・助産師等の専門的相談支援と、第2号で家事・育児援助を行うヘルパー派遣等による家事と育児援助の方法を規定している。第5条では、第4条の2つの訪問支援の内容について具体的に定めている。

養育支援訪問事業の実施にあたって、中核機関が必要となるが、要保護家庭を所管し、市の要保護児童対策協議会の調整機関となっているこども育成課が所管する。

利用の申請、承認や通知は、第7条から第8条に定めている。第9条で訪問支援の日にち、時間・期間等を定めている。利用者負担については、ヘルパー派遣の一部は有料、要保護児童対策協議会で支援の必要な家庭と判断された場合は、無料という扱いになる。

家事・育児支援のヘルパー派遣は、平成29年10月1日から行うことで、現在、委託を予定している社会福祉協議会と協議を進めている。

対象家庭は、子育て世代支援包括支援センターで保健師がピックアップしたり、民生委員さん等による、生後4か月までの「こんにちは赤ちゃん訪問」等の事業で支援が必要ではないかというような家庭の情報収集を行う。そして、その家庭の状況等を主に乳幼児健診でチェックをしていく。支援の必要性を判断するための35項目の指標と、さらにさらに細分化した50項目のチェック項目により、要支援家庭としての判断を行い、保健師の支援やヘルパーさん等の支援を行っていくことで、妊娠期から切れ目なく子育てを支援する体制を整えたいと考えている。

(教育長)

質疑に入ります。質疑はありませんでしょうか。

(中川委員)

国の補助事業というのは、該当者は何人ぐらいか。当該年度だけなのか、これからも当分続くのか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

国の補助の関係につきましては、子ども子育て支援交付金の中のメニューに挙がっており、単年度事業ではなくて、次年度以降も継続して事業を実施できます。

(教育長)

その他質疑はありませんか。質疑を打ち切らせていただきます。討論に入ります。ご意見がありましたらお願いします。

(深田委員)

基本的には今出されているかたちで進められていくことに了承します。基本はやはり子どもの生活に基づいての実施だと思います。概略版を見ていてもそうですが、今の子育てを巡る課題は、どちらかという家庭よりも行政にかなりの負担を求めるという方向性になっていると思います。この支援事業計画のしっかりとしたチェックと実態に合うような改善というものをらせていかなければならないと思います。

また各機関との連携についても行っていかなければならないし、特別支援というような観点から言うと、早めの発見が大切だと思いますので、民生児童委員の方々が生後4か月までに訪問される意見をこども育成課や、こども支援センターに届いているのかということも確認していかなければならない。そのような連携の必要性を感じました。

(教育長)

その他ございませんか。それでは、議案第11号豊岡市養育支援訪問事業実施要綱については、原案のとおり可決することといたします。

(教育長)

続きまして、報告第6号 豊岡市社会教育委員の委嘱についてです。生涯学習課長の報告をお願いします。

○報告第6号 豊岡市社会教育委員の委嘱について

《生涯学習課長の報告概要》

報告第6号豊岡市社会教育委員の委嘱について資料により説明する。

5月17日第2回の委員会で決定したが、豊岡市PTA連合会から推薦された2人を承認いただきたい。

(教育長)

ご質問はありませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

では別紙のとおり、豊岡市社会教育委員を委嘱することをご承知おきください。

(教育長)

続きまして、報告第7号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命についてです。教育総務課長の報告をお願いします。

○報告第7号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

《教育総務課長の報告概要》

平成29年度学校給食センター運営委員会の委員については、4月21日の第1回定例教育委員会で、PTA以外の役員を決定いただいた。PTAの役員についてはPTAからの推薦による委員とし、以降の教育委員会において報告することの委員各位の了承を得ているところであり、PTAからの推薦があったので、任命することを報告する。

(教育長)

ご質問などはありませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、別紙のとおり豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することをご承知おきください。

(教育長)

続きまして、議事報告第8号 平成29年6月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○報告第8号 平成29年6月市議会答弁概要について

《 平成29年6月議会における教育委員会への質問に対する答弁内容について、当日配布資料により教育次長が報告した。 》

(教育長)

教育次長から説明がありましたが、議会答弁概要について、質疑・ご意見はありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

傍聴していただいた委員さんもあり、ありがとうございました。それではこれで市議会での教育委員会関係答弁内容についてご承知おきください。

それでは、ここで休憩をとりたいと思います。

休憩

(教育長)

休憩前に引き続き、審議を再開します。報告第9号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正す

る要綱の制定についてこども育成課長の報告を求めます。

○報告第9号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

《こども育成課長の報告概要》

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市私立認定こども園整備費補助金の補助率又は補助金等の額の項目について、補助金の算定の基となる国の整備交付金の交付要綱を年度当初から適用する旨の通知が国からあり、対応する国の補助金名に改正するものである。この補助金については、平成31年4月1日に開園を予定している。(仮称)小坂・小野認定こども園の整備に適用する補助金となる。

(教育長)

質問等ありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

(教育長)

続きまして、議案第10号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明を求めます。

○議案第10号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の報告概要》

団体1件、個人3件からの寄附の申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

質疑等ございますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程第6 協議事項】

(教育長)

協議事項1 小規模保育事業運営事業者の公募について、こども育成課参事の説明をお願いし

ます。

1 小規模保育事業運営事業者の公募について

《こども育成課参事の説明概要》

小規模保育事業運営事業者の公募について、資料に基づき説明する。

平成29年4月1日現在、8人の待機児童があり、全てが豊岡地域の児童である。0～1歳児が6人である。また、豊岡地域の児童で豊岡地域の保育所に入所できないために、日高や出石地域の保育所に入所している児童も毎年生じている状況である。

小規模保育事業は、0～2歳児を対象にした少人数、定員19人以下の保育所である。定員20人以上の認可園は、県の認可であるが、この小規模保育事業は、市の認可事業である。認可保育所と同様、運営費助成を受けられる。豊岡市では平成29年4月に1園の認可開園を行ったが、待機児童の解消には至っていないため、さらにもう1施設の小規模保育事業所の応募を行いたい。豊岡地域が待機児童の解消ができない地域になるので、豊岡地域で港地区を除く地域で公募する。

平成30年4月に認可開園ができることを最優先と考えているので、既存物件の改修により、小規模保育事業を公募したいと考えている。ただし、自己資金で新しい施設整備をされ、来年4月に開園が間に合えば拒むものではないが、期的には新しく建てると4月1日の開園は難しいと考えている。

平成29年度は、1,650万円の補助金を予算措置している。

選考方法は、市役所内に（仮称）小規模保育事業選定委員会設置し、副市長・教育長をはじめとして、市職員で審査をしたいと考えている。

今後のスケジュールは、来月3日から募集を開始したい。7月中旬にこども育成課の事前審査を行い、7月28日に募集を締め切り、8月中に選定委員会で事業者を決定し、9月上旬に決定する。

（教育長）

質疑やご意見はありませんか。

（中川委員）

平成29年度に1園開園したが、その運営状況というのは、まだ3か月ほどですが順調にしているのかどうかということが1点。

もう1つは、公募内容のその他実施事業の0歳児について、「0歳児保育は生後6か月から」とあり、これが普通で読めばベースになっていると思うが、括弧書きで「できれば生後2か月からの産休明け保育を」とある。この記載のまま公募して問題ないのか。

（こども育成課参事）

市民の方にわかりやすい表現を意識し、こういう記載のほうがわかりやすいのではないかと調整しました。今のところはこれで出そうと思っておりますが、検討中です。

（中川委員）

この記載は、おかしいと思う。ここは書きぶりを工夫したほうがいいと思う。

(こども育成課参事)

わかりました。書きぶりについては検討させていただきます。

(教育長)

よろしく申し上げます。それから4月に開園した小規模保育所の今の状況を報告してください。

(こども育成課参事)

カバンストリート保育園が4月に小規模保育所として開園しました。定員19名のところ、14名入所がありました。もともと10年間程度は認可外保育所をされておりましたので、運営状況としては特に問題ないと考えております。

また、他の園に在籍していた2歳児で発達の特性の行動が強い子がいまして、たくさんいる園の中では、先生がずっと1人ついておかなければならない状況であったため、保護者とも話しをしながら、カバンストリート保育園に途中入所しました。そのため、14名から始まったのが現在、15名になります。その子が3歳児になったら、またその園に戻すということで、近隣の園のほうとも良好に対応されています。

事務的運営については、こども育成課のほうで指導を行っていますが、園の運営につきましては順調であると思っています。

(教育長)

その他、ご意見はないでしょうか。

(深田委員)

先ほども出ていましたが、基本的には生後6か月からということですよ。括弧つきで書いてあるように、2か月からも可能ということになると思うのですが、現在、病児病後時保育を行っているのは、チャイルドケアセンターだけですよ。

(こども育成課参事)

はい。

(深田委員長)

そう考えたら、なかなかそういうのを受け入れてくれるところがない。生後2か月から受け入れるというのは無理があるのではないかと思うのですがどうですか。病気は多いですよ。

(こども育成課参事)

何歳児から受け入れるというのは、基本的には園の考え方になるのですが、今回公募にあたって条件を付けさせていただいたのが、生後6か月からしてくださいということを条件にしています。ただ、まだ民間のほうで働かれている親御さんで、育休制度がないようなところにつきましては、産休明けでも少数ですけど、申込みがあったりしますので、生後2か月から産休明け保育

もしてやろうというところがありましたら歓迎しますということです。選考方法の中でも採点をするということになっていきますけれども、6か月をどれだけ短縮していただけるかというのが1つの採点方法になるのかなと考えています。

(教育長)

その他、何かありませんでしょうか。それでは先ほどの指摘も含めまして、小規模保育事業運営事業者の募集については、待機児童解消のため平成30年度の開園を目指して準備を進めていただきますよう、よろしくお願いします。

【日程第7 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 教育委員会事務局の報告です。(1)平成29年度教科書展示会について、(2)平成29年度学校園訪問の日程について、(3)豊岡市国際交流体験学習使節団派遣中止について、こども教育課課長から、(4)豊岡市こども支援センター5月の活動状況報告について、こども教育課参事の報告をお願いします。

1 こども教育課

《こども教育課長の報告概要》

(1)平成29年度教科書展示会について

教科書展示会は、例年行っており、教科書発行法によって義務付けられているものである。開催期間についても全国一斉に6月16日からと指定されている。展示している教科書は、市内の小中学校で現在使用している教科書である。また、来年度から始まる、特別の教科 道徳の教科書、来年度使用予定の教科書、それから、高等学校の来年度使用予定の教科書も展示している。市民への広報は、市広報、ホームページ、行政情報放送でも周知した。

(2)平成29年度学校園訪問の日程について

学校園訪問については、今週の6月20日からすでに始めており、1学期分の日程は記載した。2学期以降の予定は、分担を入れているが、日程が決定次第お知らせする。

(3)豊岡市国際交流体験学習使節団（韓国東川初等学校）派遣中止について

国際交流の韓国慶州の派遣は、北朝鮮情勢を考慮して、今年度は中止とし、5月16日付で各小学校長へ通知した。受入れについては、例年冬に韓国から豊岡にホームステイに来ているが、今年度の受入れ実施について、協議を行っていく。

《こども教育課参事（こども支援センター所長）の報告概要》

(4)こども支援センターの5月の活動状況について

不登校は、5月現在で5名の生徒が支援センターに来ている。このうちほぼ毎日利用しているのは2名で、他の3名につきましては週1日、あるいは週2日程度の利用となっている。先月5月に来所、あるいは電話で不登校についての相談を受けており、6月に2人ほど支援

センターに行きたいと聞いている。6月は、7人から8人ぐらいの実数になってくると思われる。

特別支援の取組状況は、4月・5月、新入学の児童生徒、あるいは進級した児童生徒の学校園での状況の把握に努めている。今後、学校園とも相談する中で、検査等を行う。

児童家庭相談業務については、5月に小学校6年生の児童虐待通告が学校からあり、県豊岡こども家庭センターに報告し、こども家庭センターで今後保護者への指導を行っていく。お父さんの連れ子で、再婚されたお母さんが顎をなぐるという身体的な暴力により、赤いあざになっていた。お母さん自身が初めての結婚でいきなり男の子3人のお母さんになられて、子育てに関する悩みなどがあったのかと思われる。また、中学生の虐待通告もあった。兄弟間で差別的な扱いをされ、家に帰りたくないと学校で先生に伝えたために、こども家庭センターに報告し、現在、児童養護施設で一時保護となっている。今後、こども家庭センターが保護者と面談し、指導していくこととなる。

(教育長)

一括して質疑、ご意見がありましたらお願いします。

(深田委員)

まず教科書展示会ですが、これは例年、だいたいどれくらいの方が来ておられますか。係の方が名簿を書かれていますか。

(こども教育課長)

集計していただいていると思うのですが、例年何人ぐらいかというのは今資料の手持ちがありません。

(深田委員)

広報は行政情報の放送もあるので、皆知っているのだろうが、行ったらほとんどいない。来期の道徳の教科書などは難しいと思うのだが、あまり関心がないのかと思いました。そんなことがちょっと気になりました。

(教育長)

法律で義務づけられているんですよね。

(こども教育課長)

そうです。義務付けられているので、だれも来なくてもやります。豊岡の場合は、書架に常設し、1年中使っている教科書が常に置いてあります。

(深田委員)

次にこども支援センターについてですが、不登校相談が2件ほどあって6月から増えそうだということですが、学年はわかりますか。

(こども教育課参事 (こども支援センター所長))

中学校3年生です。

(深田委員)

1年生だったら中1ギャップというようなことも考えられるのかなと思うが、3年生ですか。

(こども育成課参事 (こども支援センター所長))

一人は、学校での友人関係のトラブルで、行きにくくなったというようなことがあり、しばらく学校から離れて支援センターに来ていますが、また学校に戻りたいという思いを持っています。

また、起立性調節障害の生徒もいます。生活リズムが整わず、なかなか朝起きられない、学校に行けないという子どもたちは、保護者が心配されて、どこか通所できるところはないかと相談があり、支援センターに通ってみようかと判断されます。家庭との連携も必要となってくるので、来週月曜日には登校しぶりの子を抱える親の会を開催して、家庭とも連携を取りながら今後の指導を行っていききたいと思います。

(深田委員)

去年、私たちもいろいろと研修しましたが、やはり生活リズム、特に睡眠のことについてはすごく重要だとわかっていますが、なかなか子どもに理解させることは難しいだろうし、また親御さんに指導することは難しいでしょうが、言い続けるしかないのかなと思います。3年生はちょっと心配ですね。

(中川委員)

慶州の交流体験学習会の件ですが、今回は朝鮮半島情勢ということで、これはやむを得ないと思う。以前は韓国と日本との関係で世間が騒がしくなったこともある。交流についてはスムーズに行かないことが多いと思われる。実際、行っている子どもたちはどうしても行きたいという思いは強いのですか。

(こども教育課長)

過去に2回中止をした年があります。1回は日韓関係が非常に悪化して、社会情勢を考慮した中止、もう1回はSARSの病気が流行ったときです。昨年度もこれを継続するかどうかという協議があったのですが、昨年度も募集よりも応募者の人数のほうが多くて、抽選をして絞ったような経緯もあり、それから参加をした児童、それから引率した教職員の反応を見ても非常に得るものもあったということで、本年度も継続しようということで、本年度も続いてきています。

(中川委員)

個人的な意見だが、来年行こうと思っている子どもがいた場合、その子たちがいろいろな理由でまた行けなくなると、すごく失望するのではないか。これは、再度見直したほうが良いような気がする。

(教育長)

これは委託事業で小学校長会が付託されていて、小学校長会の意見も聞いてみる必要があると思いますけれども、対象が一定の子どもたちであり、概ね否定的です。参加した子どもたちが還元しようとはするのだけど、なかなかしにくい状況がある。例えば豊岡小学校の子でも兄弟関係でお兄ちゃんやお姉ちゃんが行ったから私も行くという感じで、それほど意味のある広がりはないかなと思われまます。行っても日本と変わらないような生活をやっている、ゲームをやったりとか、ロッセワールドに連れていってもらったりとか。やるかやらないかもそうだし、どんな交流をするのかという内容も併せて、検討する時期にきているのかなという思いがします。朝鮮半島情勢は今の状況が改善されなくて同じ状況であれば、来年は実施しないことになり、2年その状況が続くのであれば、リセットしてみる必要もあるのかなと思います。今後、校長会とも相談していきたいと思ひます。

それから、虐待事案が出ていますので、虐待する親はもちろんよくないのだけれども、そうせざるをえない背景を親は持っている、特に母親は持っているというのが今回2つの事案だと思ひます。母親がどう子どもに向き合ったら良いのかも含めた対応がこれから必要であると思ひますので、その後もよろしくお願ひします。

(佐伯委員)

虐待で保護されている生徒さんは、今まで行っていた学校には、保護されながら行っているのですか。

(こども教育課参事)

一時保護の場合は、市内ではない児童養護施設に入っており、今まで通っていた学校には行けない状況です。

(教育長)

その他ございませんか。それでは、続いて兵庫県内の保育所利用児童数について、豊岡市ファミリーサポートセンター事業の現状報告についてこども育成課長の報告をお願いします。

2 こども育成課

《こども育成課長の報告概要》

(1) 兵庫県内の保育所等利用児童数について

5月22日付けて、4月1日現在の兵庫県内の保育所等の待機児童数が速報値で発表された。県全体では昨年に比べて522人待機児童が増加している状況である。平成28年度には4,807人保育所等の定員を県内全体で拡大しているが、利用申込者がそれを上回る5,127人と増加している。豊岡市においても、カバンストリートの小規模保育事業ができ、19人の定員が増え、私立の保育所を中心に定員増を図られたこともあり、59人定員が増えたが、4月1日現在で8人の待機児童があり、これはほとんど旧豊岡市である。今年度、小規模保育事業所を新たに1園公募し平成30年4月に開園することとして、なんとか解消を図りたい。国も待機児童

解消に向けた新たな計画、子育て安心プランを打ち立てて、もう少し長いスパンで待機児童の解消に取り組むようなことが出ており、今後の動向などを注視しながら、対応していきたい。

(2) 豊岡市ファミリーサポートセンター事業の現状報告について

ファミリーサポートセンターはこども育成課が事務局となり、今年の4月に立ち上げた事業である。4月10日からまかせて会員の募集を始め、6月9日現在27名の申込みがあり、今後、まかせて会員の講習会を行う。

7月3日からおねがい会員の募集を開始する。各地域に出向いて登録の受け付けを行う。相互援助活動の開始は当初、秋頃と考えていたが、まかせて会員の数も確保できており、夏休みにおねがい会員の依頼も増えることが予想されるため、7月21日から相互の活動を開始する予定である。

(教育長)

質問・ご意見はありますか。

(中川委員)

おねがい会員をこれから募集ということですが、会員を希望される方はありますか。

(こども育成課長)

今、まかせて会員さんとおねがい会員さん、どっちも会員さんというのもありまして、子育てのグループで両方とも預かったり、お願いしたりというような、グループの中で考えていらっしゃる方々もありますので、そういった方々がおねがい会員さんのほうにも登録をしていただけないかなと思っています。初めのうちは少し警戒されている部分もあるかもわかりませんので、どういう出だしになるかわかりませんが、安心して任せていただけるというところをPRさせていただいて、なんとか相互援助活動ができるようにしていきたいと考えています。

(中川委員)

それと感想なのですが、まかせて会員は50代、60代などもっと高い年齢層かと思いましたが、30代の人が多いのを見て少し意外でした。

(深田委員)

保育所等の利用状況についてですが、豊岡でも待機児童が出ているから、それをなんとか解消していこうということで、先ほどの協議にも出ていたのですが、豊岡にも事業所内保育園というのがありますよね。

(こども育成課長)

はい、ございます。

(深田委員)

事業所内保育園は、その企業にお勤めの方だけを預かるというのが基本ですよね。法律の問題だからなかなか難しいですが、事業所内保育園が事業主体になって預かるということは無理ですか。

(こども育成課長)

事業所内保育園は、豊岡ではヤクルトさんなどされていますが、保育士さんの数やスペースなどの問題があり、認可外の扱いになっています。

(深田委員)

認可外か。わかりました。豊岡にもあることはあるけれども、実態はなかなかつかみきれていないというところがあるのでしょうか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

現在、事業所内保育所で豊岡市内にあるのは、病院の院内保育所、それから、ヤクルトさんの認可外保育園の2ヵ所です。ヤクルトさんは、広さも小さく、施設の的にも事業者以外の子どもさんを預かるような保育園ではありません。病院の院内保育所は、夜間勤務もある看護師さんの子どもさんなどを対象にされていますので、病院に勤務の方以外の子どもさんを預かることは考えておられないと思います。

以前に事業所内保育所で設けているところも2ヵ所ほどあったのですが、事業所内保育所の運営の難しさ等もあり、現在は休止されています。

(深田委員)

さくらこども園など、もう今はやっていないのですか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

2年くらい前に休止されています。保護者はやはり認可園で地域の子どもと一緒に保育してもらえぬニーズのほうが高いので、事業所内保育所のニーズは、あまり高くないと思います。

【日程第8 教育委員活動報告】

(教育長)

それでは日程第8 教育委員の活動報告に移ります。短時間で結構ですので、感想を含めて活動で感じられたことがありましたら、佐伯委員からお願いします。

(佐伯委員)

今、田鶴野小学校でふるさと教育の一環として校歌以外に田鶴野の歌を作ろうという授業をされています。小学校6年生の児童の皆さんが作詞をして、但馬のご当地ソングを何十曲も作っておられる湯村の但馬寿さんの指導を受けながら、曲を作っていこうということで、私は取材を兼ねて行かせていただきました。児童の皆さんが4つの班に分かれて、それぞれ2番から5番の歌

詞を作っていくのですが、地元の田鶴野をどれだけ好きなのか、どこが好きなのか、先生や地元の皆さん・ボランティアの皆さん・親御さんに対する感謝の気持ちや、あとは笑顔で明るく、この田鶴野で元気ががんばっていこうというような歌詞をそれぞれの班が作り、それに音楽をつけて児童たちの声でそれぞれのパートを吹き込むというものです。その完成品が7月11日に披露されます。作っている過程を見ていて、すごくいい授業だなと思いました。できれば、これは各学校に取り入れてやっていただきたいような、それくらい素晴らしい授業だと思いました。改めて自分たちで地元のよさを見つめ直す、そういう機会を与えられたことはすごくいいと思いました。その授業のときに、一緒に授業を受けられない状態の児童が2人ぐらいいました。途中何回か教室から出ていく場面がありましたが、その班の子どもたちが廊下に迎えに行き、「この歌はみんなで作っていく歌なのだから」という説明をして、廊下に出て行った子どもを自分たちの班の中に迎え入れるという、そういう行動も児童の間できっちりとできていて、すごくよかったなと思います。この歌が完成するお披露目が7月11日、火曜日、10時40分から田鶴野小学校でありますので、ぜひ行っていただきたいです。できれば作っている過程を見ていただくのがいちばんだと思いますが、この素晴らしい歌をぜひ子どもたちの生の声で披露されますので、行っていただけたらなと思います。

(教育長)

ありがとうございました。中川委員、お願いします。

(中川委員)

教育長も報告の中で言われましたが、先日の学校訪問で校長先生に僕も思わず似たようなことをお話ししました。複式学級が抱える様々な課題を解決するには、次はやはり統合についての議論は避けては通れない問題だと思いました。

それから、先日、英語遊び保育の視察に幼稚園に行きました。すでに今まで4、5回視察しているので、最初ほどは驚かなかったが、それでも子ども達の反応や発音がすごいと改めて感じました。

(深田委員)

5月29日に小中一貫教育推進協議会に参加をさせていただきました。ここでは豊岡こうのとりのプランの検証のポイントということで、佐藤先生が講演をされ、その後各学校のブロックごとの討論、演習が行われました。まとめとして感じたのは、これは佐藤先生も話の中でされていましたが、先行実施していた但東中のブロックのハッピースクールプロジェクト、これを基礎にして評価の観点・留意点・課題など、こういうものをきっちり述べていたので、これが事例の1つになるのではないかという評価をされていました。全体的に今年度から始まったものですので、あとは実践の中でどういうふうに行き進んでいくのかという期待感を持ちました。

また、計画の中にもありましたように、中1の生徒への6月の実態調査や、小6の児童に対する12月の実態調査が行われるので、実態調査の中で出てきたものも実践記録の中にどうやって集積していくのかと、そしてそれを1つのイメージとしてどう作り出していくのかがこれからの各ブロックの1つのポイントかなということを感じた協議会でした。

6月19日、めぐみ幼稚園の英語遊び保育に皆さんで参加させていただきました。指導の手引きをいただいて思ったのは、15回の授業の後の検証とか評価などを中心にしながら改善点などを実践記録の中にきっちりと残されています。そういうものをしっかりと積み上げて取り組んでいかなければならないということを感じました。また、幼稚園で4歳児と5歳児ではすごく違い、1年というのは大きいのだと思いました。すごくいい取組だと実感したと同時に、やはり幼稚園からやるべきだなと思いました。

(向井委員)

初めてなので、いろいろなことが地に足がついていないような感じがします。5月31日に城崎中学校とビクトリア大学の交流会の授業に行かせていただきました。中学1年生だったので、習い始めのMy name is…と一生懸命に自己紹介を1人ずつしていき、なんともかわいいなと思った次第です。短い時間でしたが、ビクトリア大学の学生は、ビクトリアの好きなところや自慢したいところを、中学生は城崎の自慢するところを、それを模造紙にまとめないといけない。30分ほどの中で、グループごとにまとめなければいけなかったのですが、大学生がリーダーシップのあるチームはすごくスムーズにいくけれども、まとめる役がないところはなかなか進まなくて、どうなるかなと思いました。でも最終的に5つのグループがありましたが、ちゃんと15分か20分の間どのチームもまとめていて、途中までの班もありましたが、発表も大学生と中学生とできて、それなりにできるのだなと感心しました。

トライやるウィークを見学させていただきました。好きなところに行く子とかもありますが、あえて苦手なところに行った子がいました。その中でも一生懸命、自分を変えようと思って、そこを選んでそこに行ったということにすごく感動して、がんばれと思いました。そういう子がたくさんトライやるウィークによっていろんな経験をして、また違った自分を見つけられる子がたくさんいればいいなと思いました。

(教育長)

ありがとうございました。

【日程第9 教育委員会の活動予定】

(教育長)

日程第9 教育委員会の活動予定に移ります。次回の教育委員会の会議予定や今後の活動について、教育総務課教育総務係長の説明をお願いします。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

1 次回教育委員会会議の日程について

次回教育委員会会議、第4回定例会は、7月20日(木)午後1時30分から竹野庁舎の1階大会議室で開催する。教育委員会会議の終了後、竹野地域の小中一貫教育について、校長先生のお話を伺うこととしている。

第5回定例会、8月の定例会は、第1希望は、18日(金)であるが、委員の都合を都合をお尋ねしたい。

< 各委員の都合を確認し、8月18日（金）で決定する。 >

2 今後の活動・行事予定

教育委員会の活動予定は、資料に記載のとおりである。

(教育長)

活動・予定について何かございますか。

日程はこれで終了しますが、全体として、何かありますでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の定例教育委員会会議は、7月20日（木）午後1時30分から、竹野庁舎で開催いたします。これをもちまして第3回定例教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後3時10分
